

清流の国ぎふ芸術祭

Art Award IN THE CUBE 2017

プレイベント アートを楽しく観る秘訣

4月に初開幕する企画公募展「清流の国ぎふ芸術祭 Art Award IN THE CUBE 2017」のプレイベントを開催します。

登壇者は、岐阜県美術館館長日比野克彦とアートプロデューサー山口裕美。「現代アートは分からない」「もっと楽しみたい」という方へ、刺激にあふれた現代アートの世界やアートを観るちょっとしたポイントをクロストークします。

出展アーティストも会場から参加するなど、親しみやすい雰囲気で見聞を交わし、AAICへの期待感を醸成します。

1. 基本情報

- ・ 名称 清流の国ぎふ芸術祭 Art Award IN THE CUBE 2017 プレイベント
アートを楽しく観る秘訣
- ・ 日時 平成29年2月12日（日） 13:30-15:30
(開場は13:00)
- ・ 場所 岐阜県美術館 講堂（岐阜市宇佐4-1-22）
- ・ 参加費 無料（事前申込不要、先着100名程度）

2. 内容

第1部	Art Award IN THE CUBE 2017 とは
第2部	<p>日比野克彦館長とゲストによる AAIC2017 応援トークセッション</p> <p>【山口裕美プレゼンテーションタイム】</p> <p>アートの“応援”をする立場から、表現や鑑賞体験の多様化についてお話しします。</p> <p>【クロストーク+ 会場と Q&A】</p> <p>日比野克彦館長と山口裕美氏が作品を発表・体験する側や、美術館・公募展のあり方にも着目し、地方都市におけるアートのあり方についてクロストーク。既存の価値観を更新する期待感を共有します。会場から、作家や参加者も意見交換。</p>

3. 来場予定作家

佐藤 雅晴 柴山 豊尚 平野 真美 堀川 すなお 三枝 愛 耳のないマウス
宮原 嵩広 ミルク倉庫+ココナッツ 森 貞人 安野 太郎

4. 山口裕美

アートプロデューサー

アーティストが孤軍奮闘する日本の現代アートの現状の中で、常にアーティストサイドに立ったサポート活動を行っている。日本の現代アートを世界に向かって発信する活動を行っている。



玉川大学観光学部非常勤講師、女子美術大学芸術学部非常勤講師、2017年かけがわ茶エンナーレ総合プロデューサー。著書に『観光アート』『芸術のグランドデザイン』など。

5. 清流の国ぎふ芸術祭 Art Award IN THE CUBE 2017 とは

概要	<ul style="list-style-type: none"> ・全国から分野・技法・手法は問わない作品企画を公募した現代美術展の第1回目。今後3年に1回開催。 ・4.8m（幅）×4.8m（奥行）×3.6m（高さ）中に、第1回テーマ「身体のゆくえ」を解釈・表現する」作品（企画）を募集した。
審査員	OJUN（画家／東京藝術大学教授）、十一代大樋長左衛門（年雄）（美術家／陶芸家）、高橋源一郎（小説家／明治学院大学教授）、田中泯（ダンサー）、中原浩大（彫刻家／京都市立芸術大学教授）、三輪眞弘（作曲家／情報科学芸術大学院大学教授）、鷺田清一（哲学者／京都市立芸術大学学長）
開催期間	平成29年4月15日（土）から6月11日（日）まで
会場	岐阜県美術館
目的	<ul style="list-style-type: none"> （1）新たな才能の発掘と育成 （2）アートに関わる人材の育成とネットワークづくり （3）県民に新たな形のアートの鑑賞機会を提供

6. 問い合わせ:

岐阜県文化振興課文化企画係

（清流の国ぎふ芸術祭 Art Award IN THE CUBE 実行委員会事務局）

直通 058-272-8378

FAX 058-278-2612